

池上線長原駅“木になるリニューアル”が2021年秋に竣工予定！

～池上線戸越銀座駅、旗の台駅に続き、多摩産材を使用して温かい雰囲気の駅に改修～

東急株式会社

東急電鉄株式会社

池上線長原駅において、池上線沿線の温かい雰囲気をコンセプトとした「木になるリニューアル(以下、本事業)」が2021年秋に竣工する予定です。

本事業は、グッドデザイン賞など数々の賞を受賞した池上線戸越銀座駅、旗の台駅のリニューアルに続く、池上線沿線ならではの温かさやぬくもりをコンセプトにデザイン、素材を採用した改修となります。

地上階の駅舎や東急ストア入口、改札外に新設する店舗の一部は、東京都多摩地区で生産された多摩産材を活用し、木のぬくもりが感じられる軒下空間を演出することで、駅とまちが柔らかくつながる心地よい空間を目指します。なお、新設する店舗は、本事業のコンセプトに合わせ、周辺エリアにお住まいのお客さまが日常使いできる、また地域の魅力を高めていける店舗を目指します。また、地下階にある電車と駅の接点になるプラットホームは、既存躯体を利用したゲートのような意匠とします。

本事業において多摩産材を活用することで、木材が吸収している二酸化炭素 約 1t を固定化することができ、大気中の二酸化炭素増加を抑制することに寄与します。また、駅天井仕上げの工夫による廃棄物の削減など、地球環境に配慮した取り組みを実施します。

池上線沿線では、戸越銀座駅、旗の台駅に続き、池上駅でも駅舎改良工事が竣工、2021年3月30日にはエトモ池上が開業しました。今後も当社は、沿線の魅力を生かしたさまざまな取り組みを継続的に実施していくことで、池上線沿線の魅力を高めていきます。

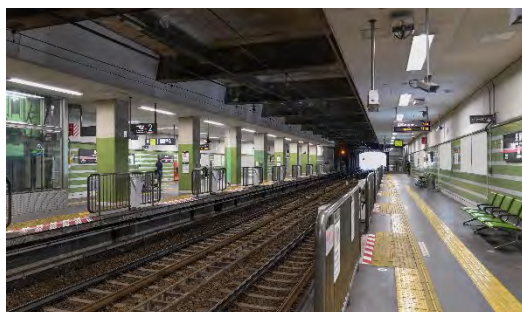
池上線長原駅木になるリニューアル工事の概要は、別紙のとおりです。



▲現在の改札外コンコース



▲改札外コンコースリニューアル後



▲現在のホーム



▲ホームリニューアル後

【別紙】

■池上線長原駅リニューアル「木になるリニューアル」概要

- 建物名称：池上線長原駅・東急長原駅ビル(東急ストアなど)
- 事業主体：東急電鉄(株)・東急(株)・(株)東急ストア
- 所在地：東京都大田区上池台1-10-10
- 工事内容：駅舎天井・外壁・東急ストア入口改修工事・改札外店舗新設工事 など
※改札外コンコースは「多摩産材木材」を活用
- 設計者：東急電鉄一級建築士事務所・株式会社交建設計
- デザイナー・アキテクト：トラフ建築設計事務所
- 竣工予定：2021年秋

《リニューアルコンセプト》

「ちょっとときになる 暮らしのまんなか」

駅は生活時間のまんなかにある場所なので、駅とまちが柔らかくつながる心地よい場所になるために、軒下にちょっと木を使い、路地に並ぶ建物と駅舎がまちと溶け込むように外壁は緑色にしました。いつも使っている駅で、ちょっと素敵な生活時間を過ごしていただきたいという思いを込めています。

《多摩産材概要》

東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材を「多摩産材」と呼びます。東京は、総面積の約4割を森林が占める自然に恵まれた世界でも有数の大都市であり、地場の多摩産材を活用することは、水源のかん養や災害の防止、二酸化炭素の吸収などの森林の多面的な機能を発揮するとともに、東京における持続的な森林整備と林業振興にも繋がります。



▲「多摩産材」ロゴマーク



▲「多摩産材」イメージ

《デザイナー・アーキテクト「トラフ建築設計事務所」》

鈴野浩一氏と禿真哉氏により2004年に設立。建築の設計をはじめ、ショップのインテリアデザイン、展示会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思想をベースに取り組んでいます。(<http://www.torafu.com/>)



▲鈴野 浩一氏



▲禿 真哉氏



▲TEMPLATE IN CLASKA
(hotel/2004.04)



▲NIKE1LOVE (shop/2007.01)

《改札外店舗》

改札外店舗の出店者募集情報、オープン情報などは、「いい街 いい電車 プロジェクト」公式ホームページ内の特設ページにて随時ご紹介します。(https://ii.tokyu.co.jp/safety/nagahara-station_renewal)

(参考)

■池上線駅リニューアルについて

(1) 戸越銀座駅リニューアル概要

○工事内容:ホーム屋根の建替え、延伸 / 駅舎内外装の改修 / トイレの建替え など

○竣工:2016年12月

○木材使用量:約120m³

○CO2削減量:約170t(鉄骨造と比較し建設段階排出量約100t減、木材のCO2貯蔵量が約70t)

○受賞実績:全9賞受賞

- ・ウッドデザイン賞2016 建築・空間・部材部門【入賞】
- ・第2回木材活用コンクール【農林水産大臣賞】【木質開拓賞】
- ・第6階木質建築空間デザインコンテスト【一般建築部門賞】
- ・2017年度木材利用優良施設コンクール【林野庁長官賞】
- ・第51回日本サインデザイン賞【優秀賞】【関東地区賞】 など



(2) 旗の台駅リニューアル概要

○工事内容:ホーム屋根の建替え / ホーム待合室の改修 など

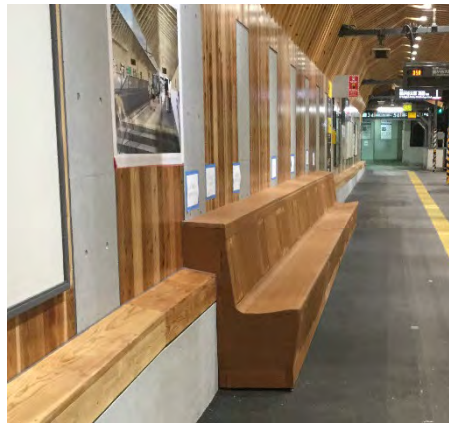
○竣工:2019年7月

○木材使用量:約210m³

○CO2削減量:約300t(鉄骨造と比較し材料製造時の排出量約180t減、木材のCO2貯蔵量約120t)

○受賞実績:全3賞受賞

- ・木の建築賞【選考委員特別賞】【メンバーズチョイス賞】
- ・ウッドデザイン賞2020 ソーシャルデザイン部門【入賞】
- ・2020年鉄道建築協会作品賞【入賞】



(3) 池上駅リニューアル概要

○工事内容: 駅舎改修 / 駅ビル開発

○竣 工: 2021年3月

○みんなのえきもくプロジェクト

池上線旗の台駅・池上駅改良工事で発生した古材「えきもく」を駅および沿線で活用していくプロジェクトで、第4弾として池上駅ビルのさまざまな場所でえきもくを活用し、歴史ある木造駅の記憶を未来に継承することや、工事に伴う環境負荷低減(廃材処理時の二酸化炭素削減)に寄与しています。



■いい街 いい電車 プロジェクトとは・・・

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみなさまと近くて良い関係「近イイ関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。

以上